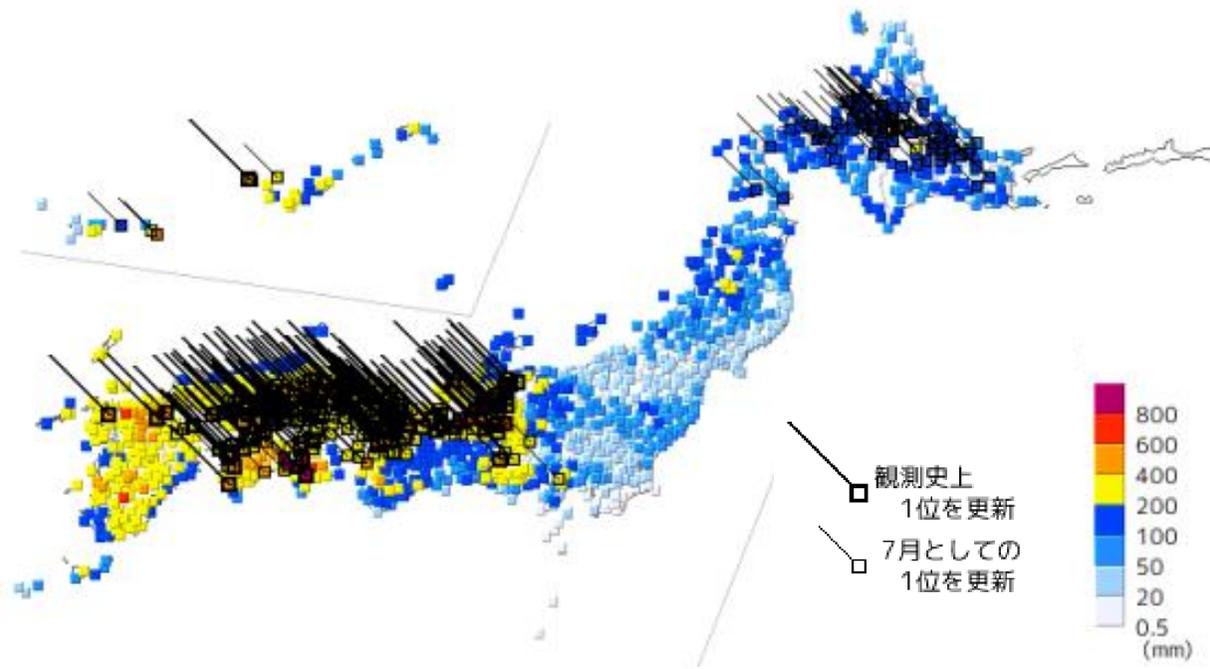


平成30年7月豪雨災害について

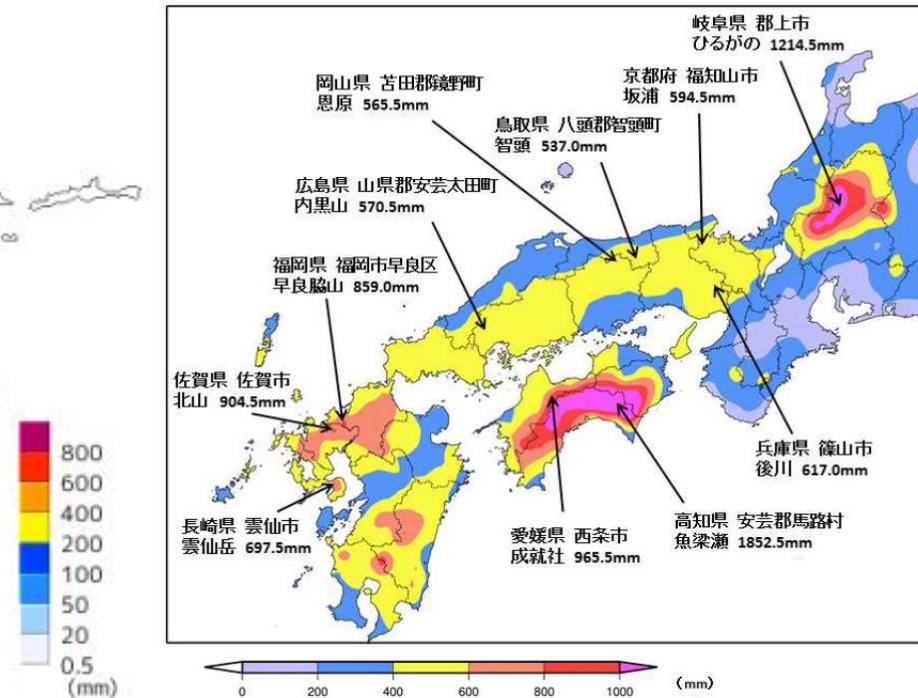
平成30年7月豪雨による降雨状況 (6/28~7/8)

- 西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨
- 九州北部、四国、中国、近畿、東海地方の多くで24, 48, 72時間降水量の値が観測史上第1位を更新

72時間降水量の期間最大値
(6月28日0時~7月8日24時)



期間降水量分布 (累計値)
(6月28日0時~7月8日24時)



出典：気象庁 (平成30年7月豪雨 (前線及び台風第7号による大雨等))

高速道路の通行止めと開通状況

■大雨の影響により、広い範囲で高速道路の通行止めが発生

<高速道路の通行止め延長>

最大(7/7 5:00時点)
58路線 約3,000km



7/27現在
2路線 20km (広島呉道路 13km
東九州自動車道 7km)

<開通履歴(中国地方)>

※()は路線毎の通行止め時間

中国自動車道全通	7月9日(月)	8:19(3日16時間)
岡山自動車道全通	7月9日(月)	12:32(3日18時間)
東広島呉道路全通	7月10日(火)	7:00(3日23時間)
山陽自動車道全通	7月14日(土)	6:00(8日10時間)
尾道道松江道全通	7月20日(金)	9:00(14日3時間)



通行止め区間

通行止め解除済み区間(7/27時点)

※解除区間は7/8以降の解除を記載

高速道路における主な被災状況



① 区域外から流木・土砂等が流入
／山陽道(本郷IC～河内IC)



② 区域外から流木・土砂等が流入
／山陽道(高屋JCT～IC)



③ 区域外から流木・土砂等が流入
／山陽道(高屋JCT～IC～西条IC)



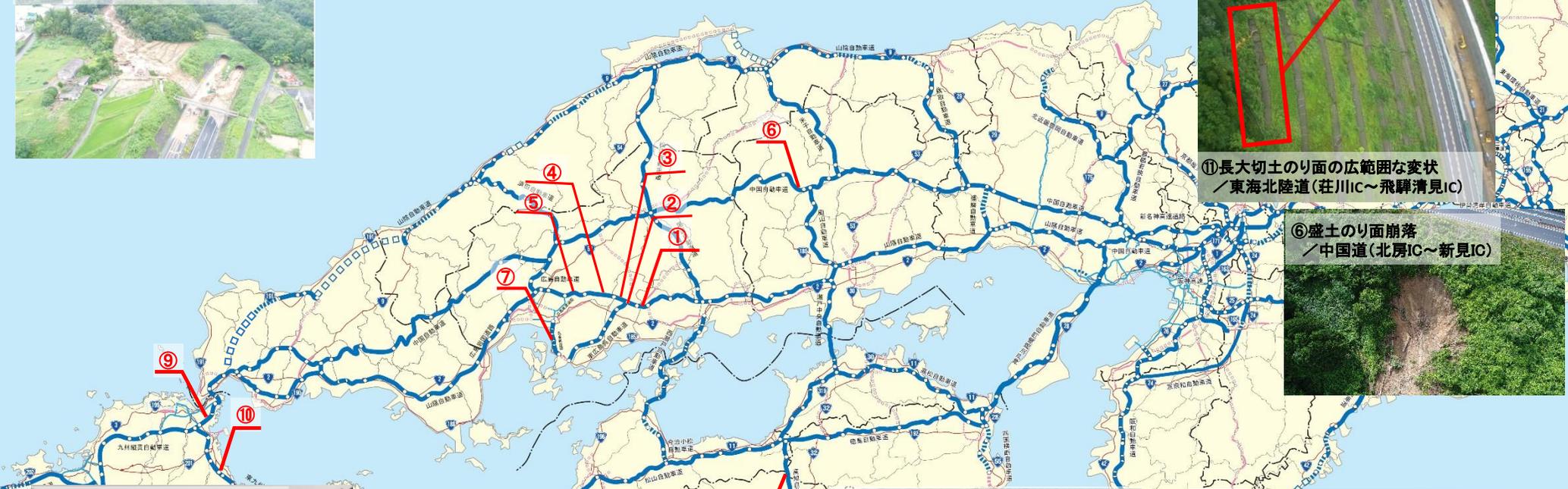
④ 区域外から流木・土砂等が流入
／山陽道(西条IC～志和IC)



⑤ 区域外から流木・土砂等が流入
／山陽道(志和IC～広島東IC)



⑪ 長大切土のり面の広範囲な変状
／東海北陸道(荘川IC～飛騨清見IC)



⑥ 盛土のり面崩落
／中国道(北房IC～新見IC)



⑩ 切土のり面崩落
／東九州道(椎田南IC～豊前IC)



⑨ 切土のり面崩落
／九州道(新門司IC～小倉東IC)



⑧ 区域外からの土砂崩落による橋梁
上部工流出
／高知道(新宮IC～大豊IC)



⑦ 区域外からの土砂流入による盛土崩落
／広島県道路(坂南IC～天応西IC)

高速道路のダブルネットワークによる効果① 山陽道・中国道・山陰道

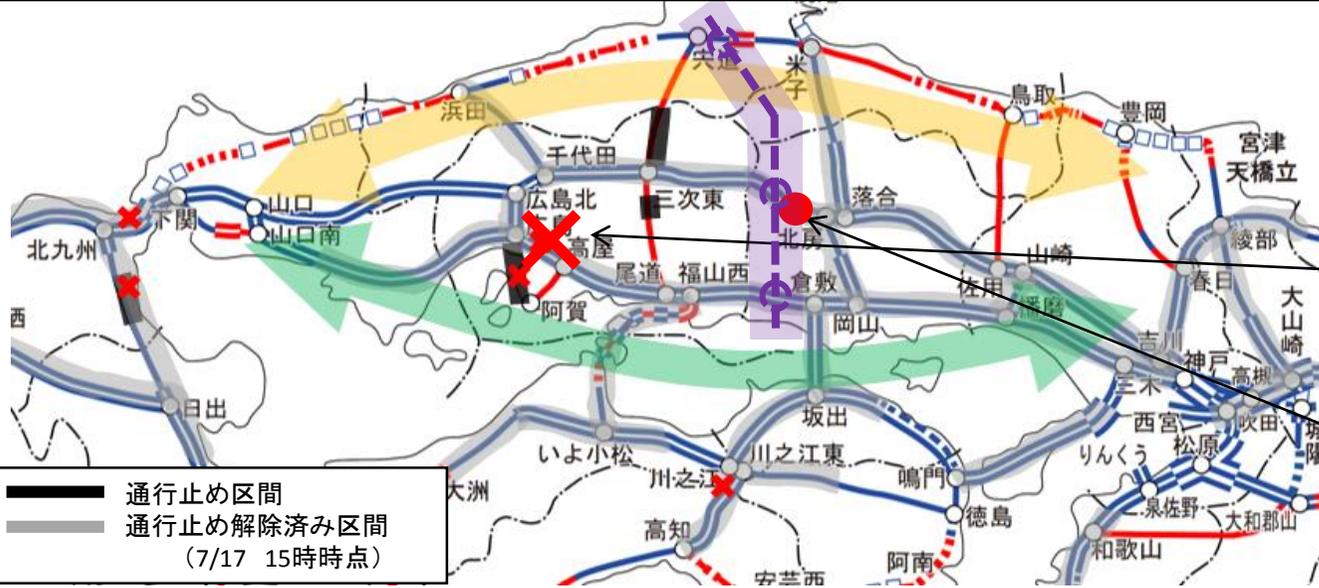
通行止め区間：山陽道（河内IC～広島IC）

○東西の大動脈である山陽道が通行止めとなったが、被災後は補完する2ルート（中国道及び山陰道）により広域交通の機能を確保（中国道は一部対面通行により通行を確保）

＜区域外からの土砂等流入による被災状況＞



＜中国道の対策状況＞

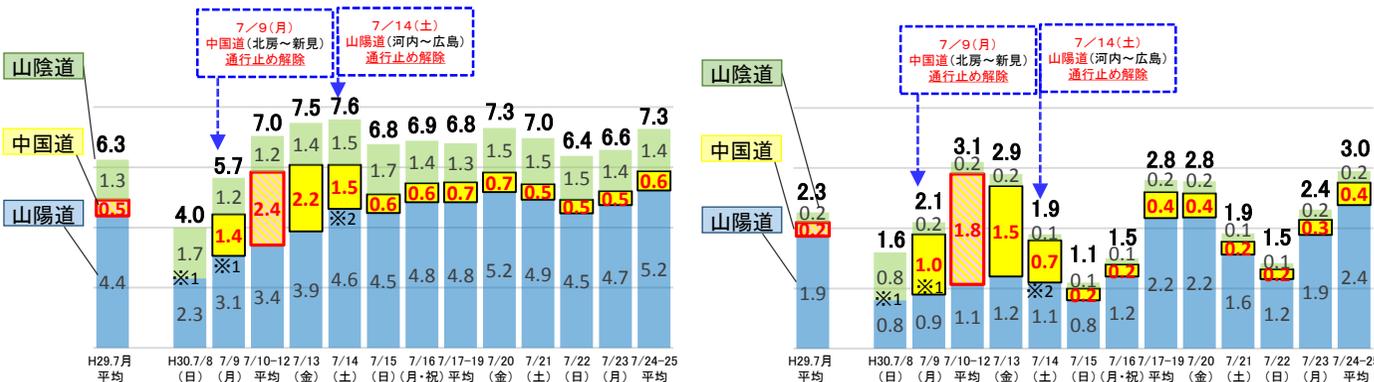


＜山陽道・中国道・山陰道の交通量推移＞

【全車】(万台)

【大型車】(万台)

※山陰道は松江玉造～宍道間
※中国道は北房～大佐SASスマート間
※山陽道は倉敷～玉島間



中国道は平常時の約5倍(大型車は約10倍)の交通量となり、リダンダンシーを發揮。
※ 中国道(北房～新見)は4車線のためネットワーク機能を早期確保

高速道路のダブルネットワークによる効果② 九州道、北九州都市高速

通行止め区間：九州道（門司IC～小倉東IC）、北九州都市高速（春日～足立）

○本州と九州を連絡する交通軸が一時途絶されたが、九州道の下り線と北九州都市高速の上り線を活用し、上下線それぞれ2車線以上確保

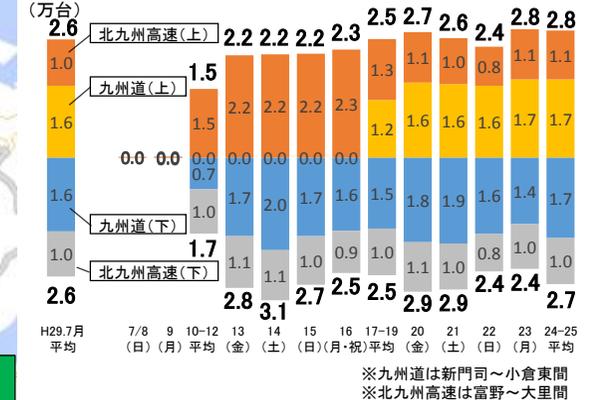
北九州都市高速 上り線(2車線確保)
※下り線は1車線確保



九州道下り線(2車線確保)

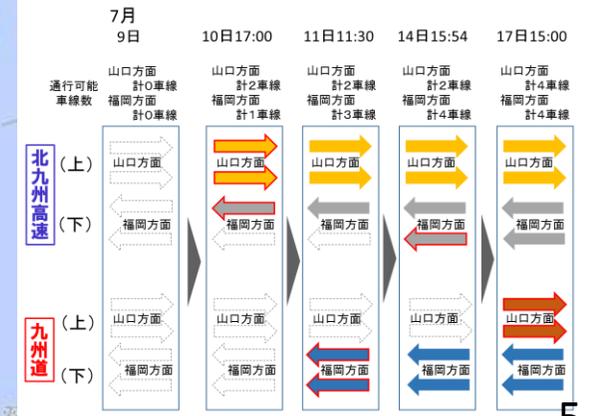


＜九州道・北九州都市高速の交通量推移＞



**上下線それぞれで、
災害前と同程度の交通を確保**

＜復旧状況＞

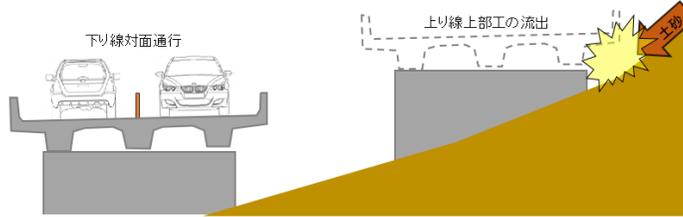


4車線の高速道路による効果① 高知道

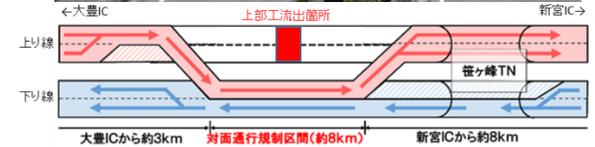
通行止め区間：高知道（川之江東JCT～大豊IC）

○上り線の橋梁が流出する大規模被災だったが、4車線であったため下り線を活用し、交通機能を早期確保

＜被災状況＞



＜復旧後＞



＜四車線化の経緯＞

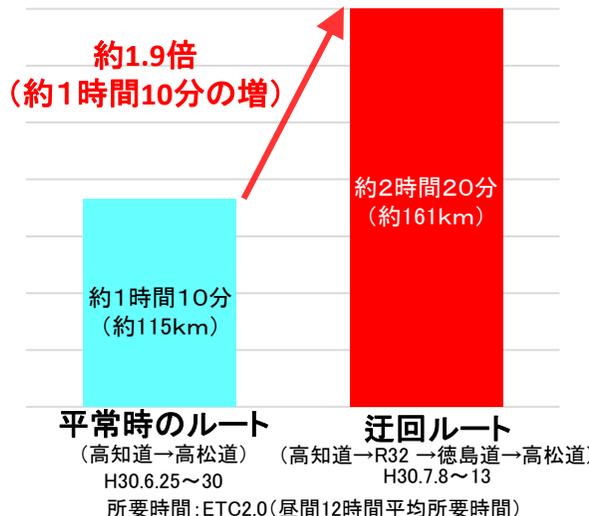
H 4.1 暫定二車線で開通
H20.7 4車線化

4車線であったため早期復旧が可能

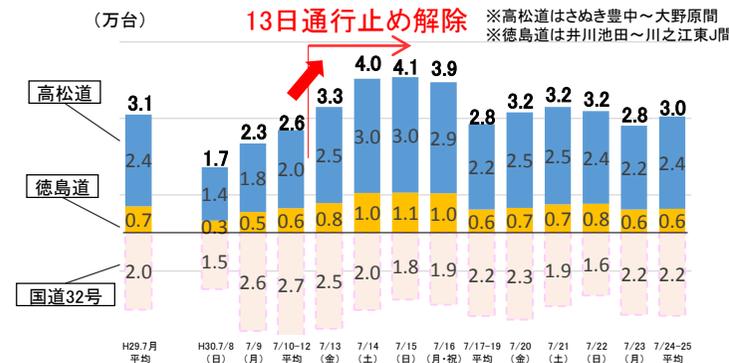
＜高知自動車道通行止め時の迂回ルート＞



＜高知ICから高松西ICの所要時間＞



＜高松道・徳島道の交通量推移＞



高知道の通行止め解除に伴い、ネットワーク全体の利用率が回復 (一般道から、高松道・徳島道に転換)

4車線の高速道路による効果② 山陽道

通行止め区間：山陽道（河内IC～広島IC）

○本線に流木や土砂等が流入し通行不能となったが、片側一車線を優先啓開し、物資輸送車両の交通機能を早期確保



＜山陽道の主な経緯＞

- 7/ 5(木) 20:00 事前通行規制開始
(三木JCT～神戸西ICを皮切りに順次拡大)
- (7/6～7/7 土砂災害等の発生)
- 7/ 8(日) 7:00 広島県内は福山西IC～広島ICを除き解除
- 7/10(火) 5:00 河内IC～広島ICを除き解除
- 10:00 コンビニ等への物資輸送車両の通行開始(河内IC～広島IC)
- 7/14(土) 6:00 全線、一般車両に開放
(通行止め開始から8日10時間)

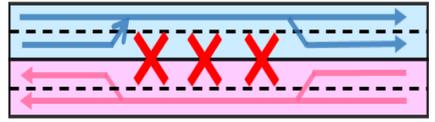
**被災後3日で物資輸送車両を通行可能
7日で一般車両に開放**

＜志和IC～広島東IC 志和トンネル内への土砂・流木流入＞



○7/10 河内IC～広島ICにおいて、コンビニ等への物資輸送車両を通行可能に（片側一車線を優先啓開）

＜運行形態＞



＜通行実績＞

16,543台
(7/10～7/14 (92時間))



山陽道(高屋～西条)

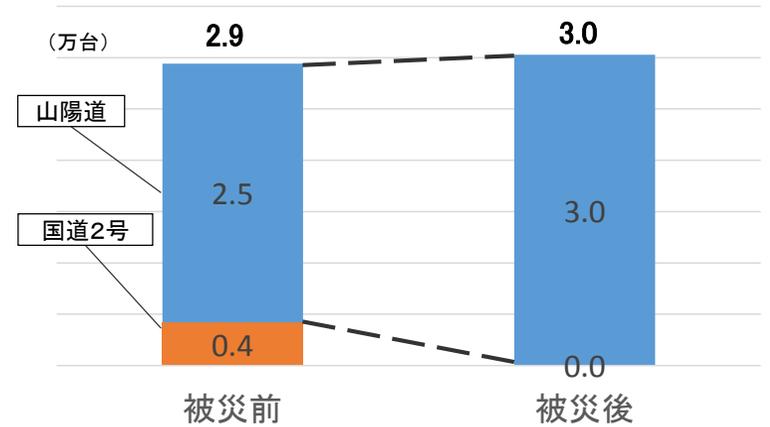
高速道路が一般道の代替機能を果たした事例 山陽道

通行止め区間：国道2号

○通行止めとなった国道2号について、並行する山陽道を活用（無料措置）し交通機能を確保



＜山陽道と国道2号の交通量推移＞



被災前：H30.7.3～7.5の平均値
 被災後：H30.7.11～7.13無料措置期間の平均値
 国道2号の交通量はH27全国道路・街路交通情勢調査結果

＜高速道路が一般道の代替措置を行った事例一覧＞

代替路	通行止め路線		無料措置期間
	車線数	車線数	
山陽道 (岩国～熊毛)	4	2	7月8日20時～ 7月17日17時
岡山道 (岡山総社～賀陽)	4	2	7月9日3時～ 7月10日20時
京都縦貫道・舞鶴若狭道 (綾部安国寺～舞鶴西)※	4 (2)	2	7月8日22時～ (継続中(7/20時点))

※綾部PA～舞鶴西は2車線

高速道路と一般道路が鉄道の代替機能を果たした事例 広島呉道路

通行止め区間：広島呉道路（仁保IC～呉IC）、JR呉線

○全線運転見合わせとなったJR呉線について、並行する広島呉道路及び国道31号を活用し、代行輸送バスを運行（広島呉道路の天応西ICにおいて逆向きに運用する特別転回を実施）

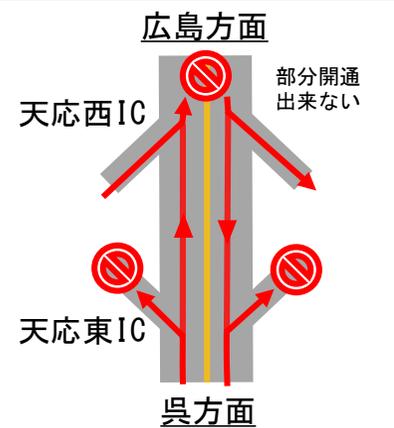
<被災状況>



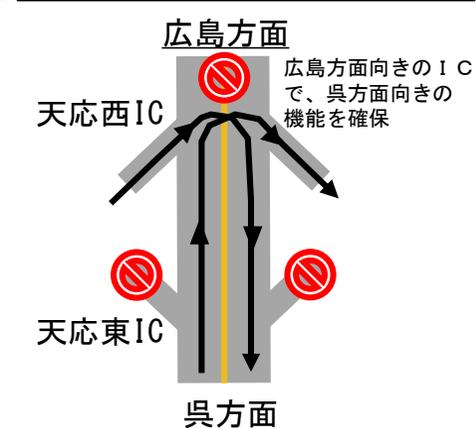
【バス運行(所要時間)】
 ①呉→広島:約1時間
 ※広島呉道路の通行前(国道31号のみを利用(2~3.5時間))から大幅短縮
 ②広島→呉:約1時間
 ※ただし朝ピーク時間帯は約2時間

■ 主なバス走行経路
 ※坂北IC～坂南IC、天応西IC～呉ICは緊急車両及び代行輸送バスのみ通行可
 ※坂北IC～坂南ICは時間帯により通行しない場合がある

天応東IC（※呉向きハーフIC）が長期通行止め



<被災状況>



<特別転回状況>

